



平成12年6月26日発行

No. 34

社協だより

みふね

社会福祉法人
御船町社会福祉協議会

TEL 282-0785

FAX 282-7895

御船町御船1001-1



御船町社会福祉協議会

会長 甲斐力夫

例年より早い梅雨入りで、しばらくは雨の季節が続きます。皆さんも体調の維持に気をつけて健やかに過ごして下さい。

さて、4月から介護保険制度は発足しました。またそれと同時に、その運用について様々な問題が浮上してきています。問題の解決に際しては、サービスを受ける立場に立った改善がなされなければならぬと考えています。

介護保険制度の発足に伴う多くの民間介護事業者の参入や、従前からの諸般の事情により、社協はホームヘルプサービス事業から撤退することになりました。今後は、町が計画している安心して暮らせる高齢者等の生活支援対策事業や元気に暮らしているよう介護予防・生きがい活動支援対策事業等に社協も協働していきたいと考えております。

又、シルバー人材センターを設立し、今まで蓄積してこられた技術や経験を活用して自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者の願いを町と連携をとり、応えていきたいと考えております。老人独り暮らしの方への配食サービス事業は今後も続行します。介護、障害者（児）支援などの根本はお互いの助け合いの心です。物の支援に終わることなく、心の届く支援でありたいと思います。関係各位の御理解と御協力をお願い致します。



11年度の事業及び決算について、5月15日に当協議会事務局において、2名の監事による監査が行われ、5月22日、理事会・評議員会において承認可決されました。

平成11年度事業報告

事業の概要

本町の福祉を推進していくため地域のニーズに応え、社協では関係機関や行政及び各種団体と連携を密にしながら、社協の役員・評議員を中心に地域住民の参加を得て、住みよい福祉の町づくりを目指し、事業の推進に努めました。

9年度より3ヶ年間厚生省国庫補助事業「ボランティアセンター活動事業」の指定を受け、参加型福祉社会の実現に向けて

地域住民の福祉意識の高揚及び先駆的な役割を担うボランティアの育成と組織化を促進し、地域におけるボランティア活動の振興を図りました。

また民協、高齢者相談員、シルバーヘルパーの活動も益々活発になり、3校区社協（木倉・田代・七滝）でも地域ネットワークづくりに努力し、住民の福祉に対する意識も高まって来ました。

7年目を迎えた給食サービスも対象者に大変喜ばれスムーズに活動中です。受託事業のホームヘルパー派遣事業、寝たきり老人・重度身体障害者に対する訪問入浴サービス事業は今年度ももって廃止となります。

社協活動の財源である社協会費は嘱託員の積極的な活動と住民のご協力により、年毎に賛助会員の増加を得ることができ、町民の方々のご理解、ご協力に

深く感謝申し上げます。

以下、平成11年度の主要事業について報告いたします。

1. 会務の運営について

(1) 役員会・評議員会の開催
定款に定める充足数以上の出席者があり、会議は有効に成立して開催しました。



社協役員評議員名

理事	11名		評議員	25名	
理事(会長)	甲斐 力夫	七 滝	評議員	緒方 末弘	滝 川
〃(副会長)	八反田 晃	小 坂	〃	山本 英二	滝 尾
〃(常務理事)	中嶋 啓介	陣	〃	本田 鶴雄	豊 秋
理事	吉沢 清	辺田見	〃	阿部 信孝	七 滝
〃	瀧下チズノ	御 船	〃	増永 信行	木 倉
〃	吉田 誠地	木 倉	〃	上田 末信	田 代
〃	増田 幸子	木 倉	〃	氏岡 稜秋	高 木
〃	徳永 一司	小 坂	〃	緒方千恵子	陣
〃	山崎 雅之	小 坂	〃	吉沢 静子	辺田見
〃	松岡 天	上 野	〃	舛本 純子	七 滝
〃	本田 義一	辺田見	〃	園田 敏勝	水 越
			〃	宮崎シズヤ	高 木
			〃	西田 馨	小 坂
監 事	2名		〃	吉田智嘉子	木 倉
監 事	本山 浩二	滝 川	〃	田上 幸一	田 代
〃	川端喜八郎	滝 川	〃	可児 幸一	七 滝
			〃	野中ナツエ	陣
			〃	緒方 桂午	滝 尾
			〃	別城 寿子	御 船
			〃	葵 修次	滝 川
			〃	藤村 久	御 船
社協職員	3名		〃	佐藤 俊明	滝 川
事務局長	西原 龍雄	滝 尾	〃	丹生 正作	木 倉
福祉活動専門員	江良真由美	滝 川	〃	野田 栄治	上 野
ボランティア コーディネーター	城 京子	木 倉	〃	平山 亨	御 船

(2) 社協会員の加入状況

社協の地域福祉事業を行うための貴重な財源です

一般会員 四、八四七名

賛助会員 四六七名

特別会員 六名

一、九八二、三〇〇円

前年度に比し、

四二、四〇〇円増

2、自主事業について

(1) 要援護者の現況把握

・要援護者の調査 (5月)



緊急連絡やニーズの把握に役立っています

・低所得者調査 (11月)



歳末助け合い募金配布に役立っています

(2) 社協活動及び

福祉サービス等の広報

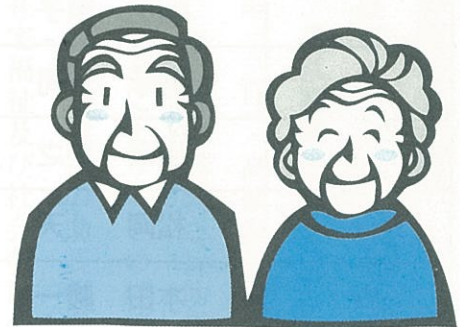
社協機関誌 年5回発行



ボランティア登録や社協事業のお知らせ等を行っています

(3) 老人福祉

☆高齢者相談員事業…高齢者やその家族が抱えている多くの悩みや問題等に対応し、高齢者の福祉の増進を図るものです。



高齢者相談員名 (地域の相談員さんです)

氏名	嘱託区	氏名	嘱託区	氏名	嘱託区
横山れい子	下辺田見	藤本ツヤ子	有 水	坂口 文雄	上田代
赤星 妙子	上辺田見	松本 義雄	馬 立	柿原 義信	西木倉
杉本 悦子	1丁目	奥田リエ子	向 山	倉本 富雄	宗心原
尾方ルミ子	瓜 山	松岡 終藏	東上野上	住田 正三	北木倉
山形ヒロ子	3丁目	梶岡ハナエ	滝 園	盛岡 博之	小 路
三沢 卓	5丁目	池田 実	吹 野	高木 謙輔	西往還
南部丰ヨ子	下荒瀬	渡辺 義範	八 勢	高田 主也	下高野
緒方 啓子	牛ヶ瀬1	高村 一男	古閑原	川添 蘭子	甘 木
渡辺 敏之	牛ヶ瀬2	栗本 栄	南田代1	西島ヨシエ	上高野
本宮 成子	上迎町	上田 末信	南田代4	山下 盛之	高 山
奥田 繁	桜 町	増田ヒデ子	玉 来	永戸 泰	小 坂
増田 厚	上梅木	藤本 淳子	中 野	民長力チ子	陣
吉井 博	玉 虫	内村 友久	間 所	森永 雪枝	万ヶ瀬



さわやか会の大澤さん、安藤さん
見事な手さばきです



配食ボランティアの高永さん
「いつもありがとう」と佐々木さん

☆給食サービス事業：配食サー
ビスを週1回実施し、高齢者
の健康増進や安否の確認、孤
独感の解消を図りました。
この事業は、7年目になる
調理ボランティアさわやか会
とお弁当を自宅まで届けて頂
く配食ボランティアとの力で
なりたっている事業です。



和気あいあいとレクリエーションを楽しんでいる高齢者の皆さん

☆一人暮らし高齢者交流会：
一人暮らしの高齢者の孤独
感の解消と交流を行い、親睦
を深めました。



国際童謡館で一時のリフレッシュ

☆在宅介護者の集い：在宅で介
護をされている家族の心身の
リフレッシュを目的に実施し
ました。

☆訪問入浴サービス事業：12年
度からこの事業は廃止となり
ました。

(4) 身障者福祉

身障者への援助は、同じ境遇
にある人たちで組織された小グ
ループの活動を重点に援助を实
施しました。

(5) 母子父子福祉

☆母子父子交流会：8月4日、
エミナースにて、交流を行い
1日楽しく過ごしました。

☆小学校入学児童祝金：経済的、
精神的に苦勞の多い母子・父
子家庭に対し小学校入学児童
を対象にお祝金を支給し、当
該児童の健全育成に努めました。

(6) 青少年・児童福祉

思いやり、助け合いの心を育
てるため、町内全校をボランテ
ィア協力校に指定し、学校と連
携をとり事業に取り組み、夏休



御船中のワークキャンプ
入所者の方の楽しそうな
お顔が印象的



田代東部小でのボランティアスクール「ヒューマンネットワーク熊本」の方達とハイチーズ!

みを利用し、ボランティアスク
ール・ワークキャンプを実施し、
児童生徒のボランティアに対す
る意識の高揚に努めました。

(7) 低所得者福祉

低所得者の自立更生を促進す
るため、生活福祉資金(1件)・
福祉金庫(5件)・高額療養費支
払(26件)の貸付と必要な援助指
導を行うことにより、その経済
的自立及び生活意欲の助長促進
並びに在宅福祉及び社会参加の
促進を図り、安定した生活を営
まれる援助指導をしました。又、
明るいお正月を迎えるため、歳
末助け合い募金を配布(76件)し
ました。

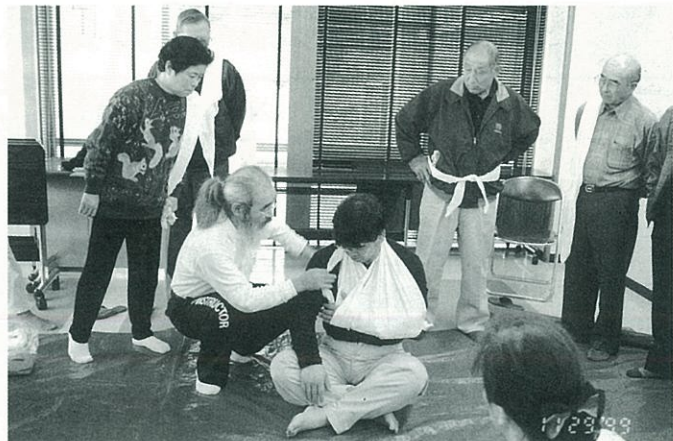
(8) ボランティア活動

参加型福祉社会の実現に向け
地域住民の福祉意識の高揚及び
先駆的な役割を担うボランティ
アの育成と組織化を促進し、地
域におけるボランティア活動の
振興を図りました

☆ボランティア連絡協議会の運

営

☆防災ボランティア講習(初級)



三角巾を使った救急法を教わるボランティア

☆ボランティアのつどいの開催

(9) 災害見舞

香典返しとして寄付された初
盆世帯に供物品(142世帯)を、
火災にあわれた世帯に火災見舞
品(1世帯)を配布しました。

(10) 法律・心配ごと相談事業

毎月第1・第3木曜日を相談
日として弁護士・民生委員・人

権擁護委員・行政相談員が相談
員とし住民の日常生活上あらゆ
る相談に応じ、適切な助言指導
を行いました。相談者74件(78名)

3、協力事業について

(1) 共同募金

奉仕員の積極的な活動にもか
かわらず、不況のあおりを受け、
昨年度を下まわる募金額となり
ました。

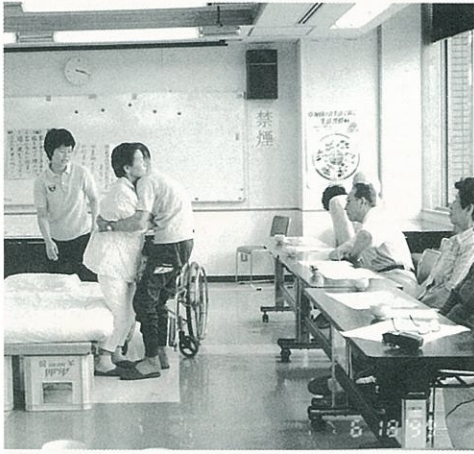
一般募金 三、七四五、七〇七円
歳末募金 一、六九〇、二五〇円

(2) 日本赤十字

日赤社資 二、八三七、五〇〇円
一般社員 四、八二一名
特別社員 三四四名
法人社員 三団体

☆家庭看護講習会

急激な高齢化により、高齢
者の一人暮らしや高齢者世帯
の生活を余儀なくされつつあ



☆高齢者夫婦の介護教室
18名参加



ベッドの上で髪が洗えるのです

る現状の中で誰にでもできる介護方法を習得されました。34名参加

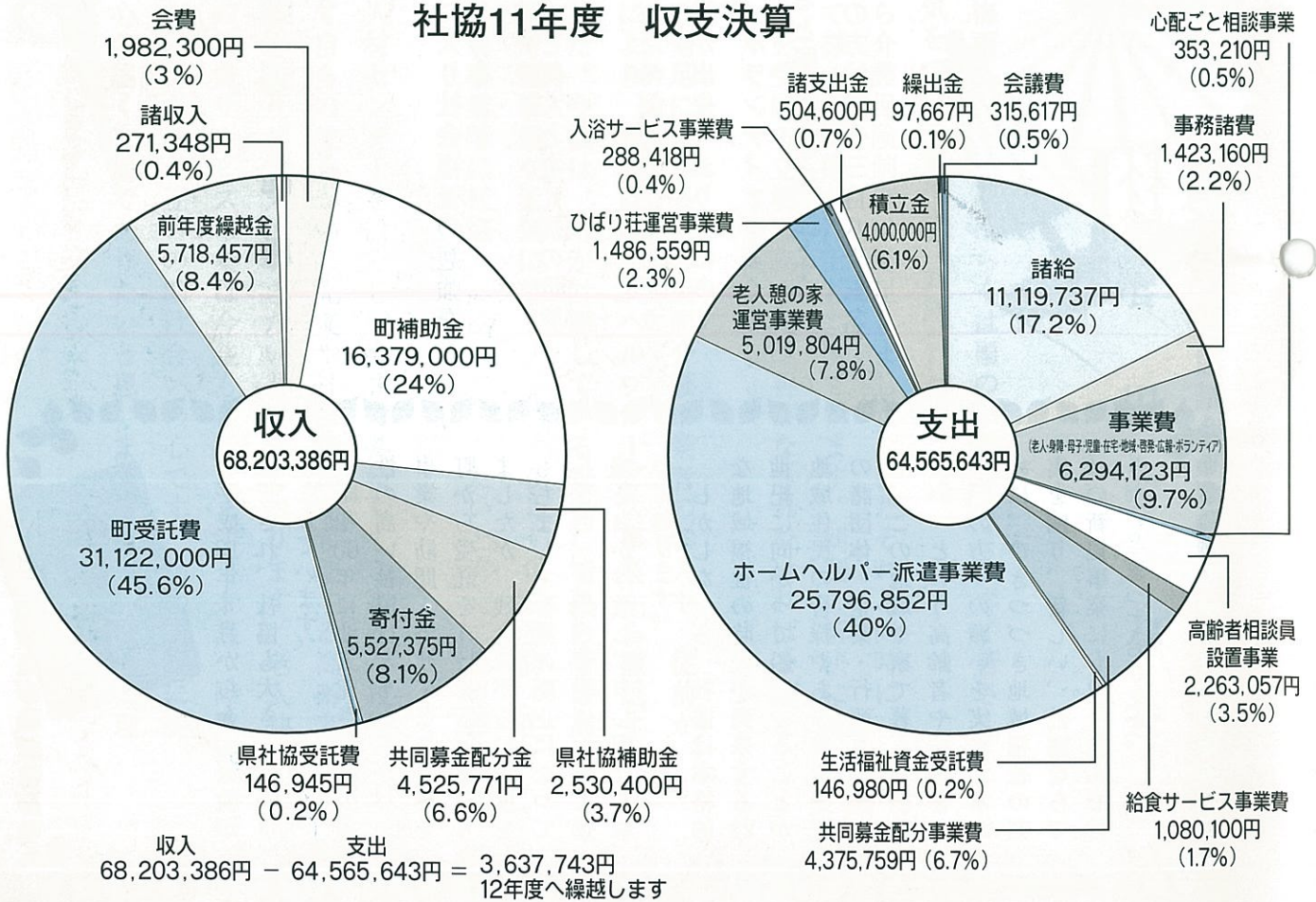
しっかりお母さんを支えて……
「ガンバレ！ お父さん」



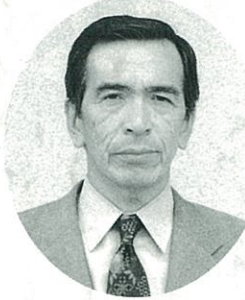
4、受託事業について

- (1) ホームヘルパー派遣事業
(12年度からこの事業は廃止となりました)
- 常勤 7名
- パート 3名
- 派遣世帯 64世帯
- (2) 老人憩の家運営管理
年間利用者数 五、三〇五名
- (3) ひばり荘運営管理
年間利用者数 六、四四一名

社協11年度 収支決算



就任のあいさつ



御船町社会福祉協議会

事務局長 西原 龍雄

前局長川添氏の後任として、この四月から事務局に入り社会福祉の勉強をしています。

私は「福祉」に関して今まで無頓着で、福祉と聞くと何んとなく別の世界だという意識が頭のすみにあつたように思います。

しかし着任してから社会福祉とはこういう世界だったのかと少なからずカルチャーショックをうけた次第です。いろいろな組織が出来ており実に多くの人達が社会福祉のために時間をさいておられます。ボランティアも多くの方が登録されており、黙々と活動されている姿を見ると頭の下る思いです。

高齢者福祉の充実は急務と考えます。六五才以上の方は四千三百八十三名、二十三%を占めます。六十五才以上の独居高齢者は三百八十五名、母子寡婦世帯百九十戸、障害者手帳交付数八百四十六件等の現実があります。

社協としても福祉団体の皆さんの活動が、よりよい形で行うことが出来るよう連携をとっていききたいと考えています。



編集後記

平成12年4月から介護保険が施行され、社協も大きく変わろうとしています。

昭和60年に法人化された公共性の高い社協はホームヘルパー事業や訪問入浴サービス事業を町から受託をうけて行っておりましたが、残念ながら11年度をもちまして事業の廃止になってしまい、町民の皆様に変えて迷惑をおかけ致し、申し訳なく思っております。

しかしながら、社協は本格的な地域福祉の時代が到来する21世紀に向かって船出することが、地域住民の皆様やあらゆる分野の諸団体・企業・行政と協働して「この地域や家で暮らし続けたい」という高齢者や障害者や児童の方々の願いを実現するために、ひきつづき地域福祉の充実を図り、新しい、社協ならではの新規事業にも取り組んで行きたいと思っております。(E)